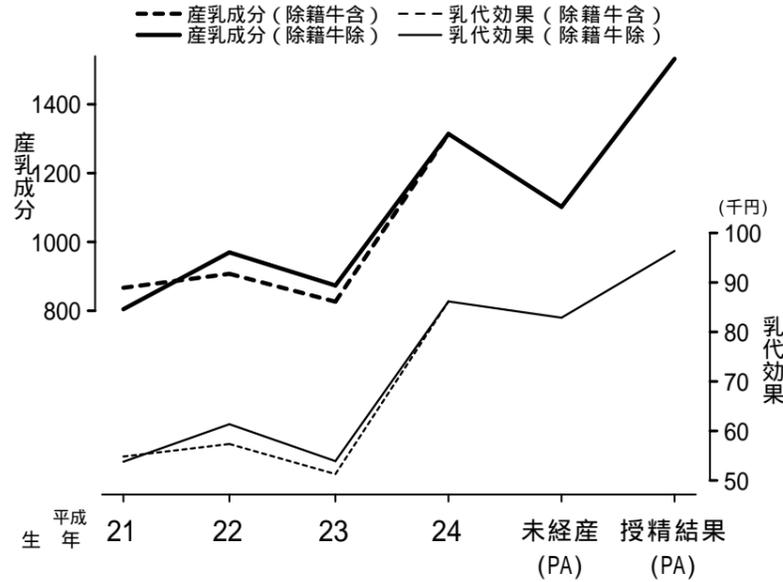


あなたの牛群の推定育種価の推移

東京都江東区冬木11-17

電算太郎

殿

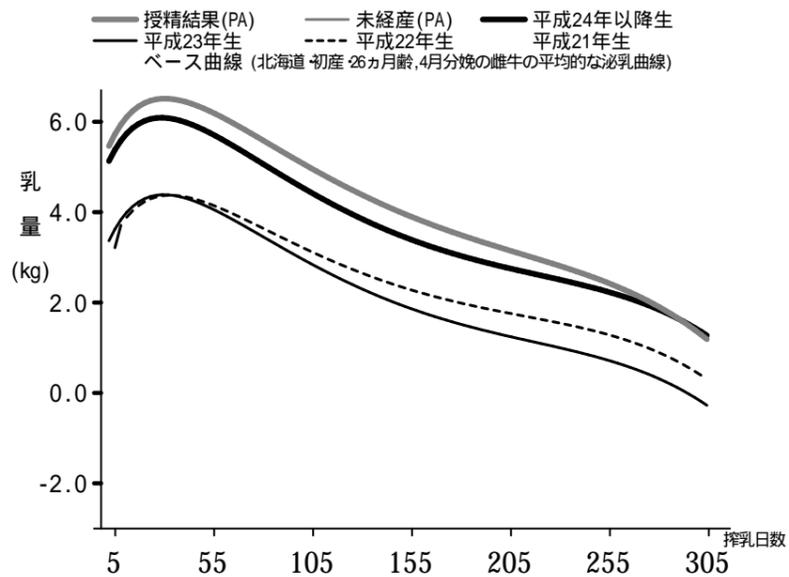


あなたの牛群の推定育種価の推移 (上段:除籍牛を含む平均値 下段:除籍牛を含まない平均値)

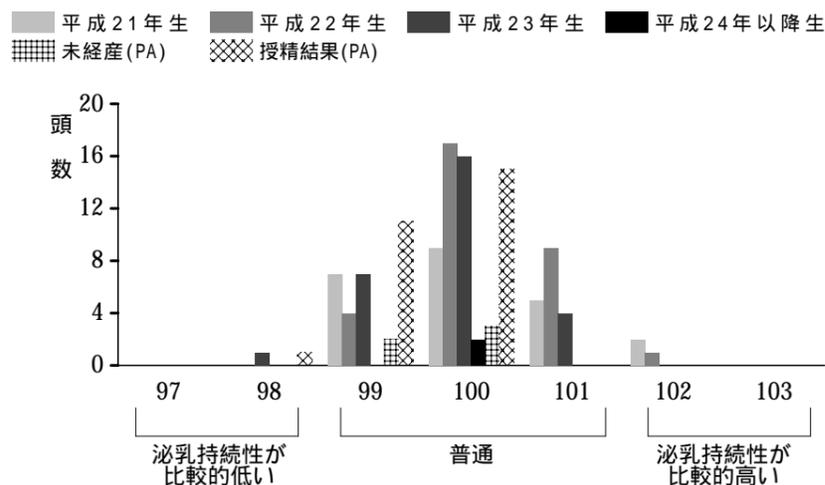
除籍牛含 除籍牛除 生年	頭数	乳量 (kg)	乳脂量 (kg)	乳脂率 (%)	蛋白質量 (kg)	蛋白質率 (%)	無脂肪形分量 (kg)	無脂肪固形分率 (%)	体細胞スコア	泌乳持続性	乳代効果(円)	総合指数	頭数	産乳成分			長命連産効果(円)	BCS()
														産乳成分	耐久性成分	疾病繁殖成分		
平成19年	17	+251	-4	-0.15	+7	-0.01	+22	+0.00	2.25	100.4	+16,106	+592	2	+199	+0	+18	+42109	-0.12
生まれ	1	+1143	+27	-0.17	+24	-0.13	+86	-0.14	2.33	101.0	+87,406			+1154		+4	+63246	+0.82
20年	32	+522	+3	-0.18	+11	-0.06	+41	-0.05	2.29	100.0	+36,760	+792	14	+448	+144	+11	+30436	-0.55
	7	+484	+0	-0.20	+8	-0.09	+39	-0.04	2.24	100.3	+33,213	+453	4	+280	+140	+21	+32226	+0.40
21年	36	+670	+15	-0.11	+19	-0.02	+60	+0.02	2.36	100.0	+54,821	+870	11	+867	+164	-2	+29706	-0.64
	23	+677	+13	-0.14	+18	-0.03	+59	+0.00	2.33	100.1	+53,764	+632	8	+804	+145	+4	+23007	-0.50
22年	37	+707	+16	-0.11	+20	-0.03	+62	+0.00	2.32	100.1	+57,356	+1193	10	+907	+285	+5	+35051	-0.38
	31	+758	+18	-0.12	+21	-0.03	+66	+0.00	2.31	100.2	+61,352	+1219	9	+969	+274	+7	+38395	-0.36
23年	29	+620	+14	-0.10	+19	-0.01	+57	+0.03	2.39	99.8	+51,280	+1190	3	+826	+195	-7	+72426	-0.56
	28	+653	+15	-0.10	+20	-0.01	+59	+0.03	2.37	99.8	+53,889	+1190	3	+873	+195	-4	+72426	-0.58
24年	2	+1132	+16	-0.28	+32	-0.05	+96	-0.04		100.0	+86,156			+1314				-0.65
以降生まれ	2	+1132	+16	-0.28	+32	-0.05	+96	-0.04		100.0	+86,156			+1314				-0.65
未經産(PA)	60	+880	+20	-0.14	+24	-0.04	+87	-0.08	2.19	99.8	+82,867	+1497	25	+1102	+341	+30	+82176	+0.64
授精結果(PA)	53	+1232	+31	-0.17	+33	-0.07	+96	-0.13	2.32	99.7	+96,347	+1802	13	+1532	+386	+6	+64909	-0.57

() 検定牛の父牛の遺伝評価値

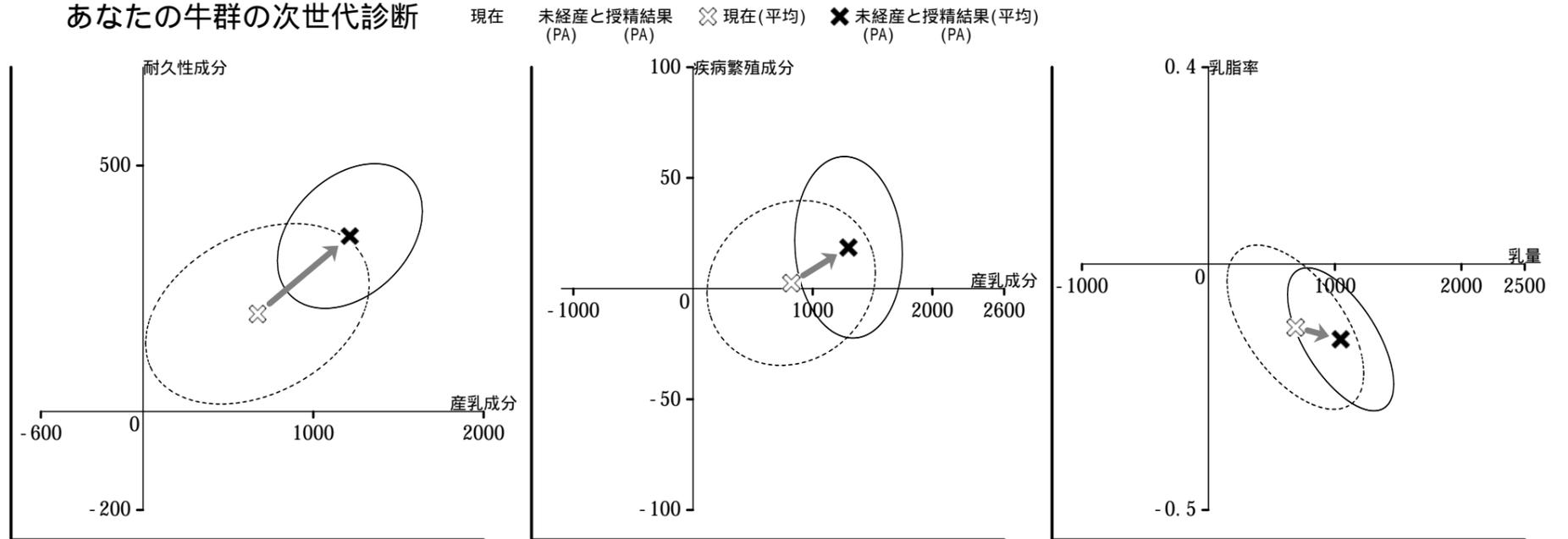
生年別遺伝能力曲線 (除籍牛除)



生年別泌乳持続性頭数 (除籍牛除)



あなたの牛群の次世代診断



泌乳能力と体型の改良方向

泌乳能力と体型をバランス良く改良するため、泌乳形質と体型形質および体細胞スコアの次世代の改良状況をグラフ化しました。楕円は標準偏差を示し牛群のバラツキの大きさを示します。楕円の長径は回帰直線を示します。いずれの場合も矢印の方向が右上を示し次世代の楕円が小さくなれば、バランス良く改良が進んでいると言えます。

泌乳能力と体型の改良方向

泌乳能力と体型の改良方向

体型審査を受診しなければグラフに表示されませんので注意が必要です。

泌乳能力と体細胞数の改良方向

体細胞数は遺伝率が0.082と低いため遺伝的改良が難しい形質ですが、できるだけ矢印を上向かせて行くことが望めます。

泌乳量と乳脂率の改良方向

泌乳量と乳脂率には、一般に負の相関があり、右下がりの楕円が描かれることが多いようです。この場合泌乳量等の方に偏らない改良が必要です。